

事業報告

<研修名>

2019年度 第6回 大分県公立図書館等職員研修会（テーマ別研修）

<開催日時>

2020年2月17日（月） 10:20~16:00

<会場>

大分県立図書館 第2・3研修室

<参加人数>

58名

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、最新の図書館情勢に対応したテーマについて、理論とスキルを学ぶことにより、県内全体での図書館職員のスキルアップを図る。

<研修内容>

【講義1】 「図書館サービスと著作権」

講師 日本図書館協会
著作権委員会 委員 長谷川 清 氏

- 1、はじめに
- 2、著作権制度
モラルかマナーかルールか
- 3、図書館と著作権
著作権を意識しなくても業務ができることの根拠
- 4、複写サービスと著作権
契約で決まっているということ
二つのガイドライン
館内撮影と館外複製
- 5、上映会、おはなし会と著作権
視聴覚資料の少量多品目という需要
寄贈資料の場合と図書や雑誌の付録の場合
上映会とおはなし会
- 6、障害者サービスと著作権
- 7、最近の法改正を踏まえて
- 8、おわりに

【講義2】 「デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護」

講師 日本図書館協会
図書館の自由委員会 委員長 西河内 靖泰 氏

- 1 はじめに
- 2 プライバシー保護の重要性
- 3 どんな場面で「個人情報」「利用情報」が収集されるか
- 4 収集した情報の管理
- 5 利用者による自己情報へのアクセスとコントロール
- 6 外部とのネットワーク
- 7 図書館員のプライバシー意識と図書館の体制

<当日の様子 (写真)>

【講義1】



【講義2】



<参加者感想>

- 著作権やプライバシーについて学ぶことができ改めて勉強になった。
- 説明が実地的でとても勉強になった。
- 実務で疑問に思っていたことが解決できた。
- わかりやすくなった。
- プライバシー保護について自館でも気をつけようと思った。
- 今後の実務に活かしていこうと思った。
- 業務で疑問に思うことに対して回答してもらえてありがたかった。
- 非常にわかりやすかった。